

IV 主要部位別罹患と死亡率の比較

男女計の罹患と死亡（人口動態統計による）について、数、粗率、年齢調整率を比較するとともに、罹患数の死亡数に対する比（I/M）及び死亡数の罹患数に対する比（M/I）を示した（表6）。

なお、外国人については罹患数集計では除外していないが、死亡数は除外した数値である。

届出の精度を示す第二の指標である全部位のIM比は2.62であった。

部位別のIM比は生存率の相対的な高低を示唆するものであるが、皮膚（24.00）、前立腺（7.02）、子宮（7.01）、脳・神経系（6.97）、喉頭（6.79）が高かった。

	数		粗率		年齢調整率 ^{(*)1}		罹患数	死亡数
	罹患(I)	死亡(M)	罹患(I)	死亡(M)	罹患(I)	死亡(M)	／死亡数	／罹患数
							(IM比)	(MI比)
全部位	15,344	5,852	797.3	304.1	411.5	119.7	2.62	0.38
口腔・咽頭	332	126	17.3	6.5	8.9	2.7	2.63	0.38
食道	359	149	18.7	7.7	9.4	3.4	2.41	0.42
胃	2,045	748	106.3	38.9	47.5	14.8	2.73	0.37
大腸	2,317	688	120.4	35.7	60.6	14.1	3.37	0.30
┌ 結腸	1,479	460	76.8	23.9	37.3	8.7	3.22	0.31
└ 直腸	838	228	43.5	11.8	23.3	5.4	3.68	0.27
肝臓	718	574	37.3	29.8	17.1	11.4	1.25	0.80
胆嚢・胆管	324	304	16.8	15.8	5.8	5.0	1.07	0.94
膵臓	623	525	32.4	27.3	14.2	11.0	1.19	0.84
喉頭	95	14	4.9	0.7	2.4	0.3	6.79	0.15
肺	1,838	1,176	95.5	61.1	42.7	23.7	1.56	0.64
皮膚 ^{(*)2}	432	18	22.4	0.9	8.6	0.4	24.00	0.04
乳房	1,198	187	62.2	9.7	45.8	5.7	6.41	0.16
子宮	624	89	32.4	4.6	29.8	2.5	7.01	0.14
卵巣	151	65	7.8	3.4	5.3	1.8	2.32	0.43
前立腺	1,256	179	65.3	9.3	28.7	2.7	7.02	0.14
膀胱	642	121	33.4	6.3	14.4	1.9	5.31	0.19
脳・神経系	237	34	12.3	1.8	7.9	1.1	6.97	0.14
悪性リンパ腫	510	180	26.5	9.4	13.7	3.7	2.83	0.35
白血病	162	122	8.4	6.3	6.2	2.9	1.33	0.75

年齢調整率^{(*)1}：標準人口は1985年日本人モデル人口を用いた。

皮膚^{(*)2}：皮膚の黒色腫を含む

2014年における特定部位の罹患数と死亡数を男女別に比較した（図17、18）。

男では罹患数3位の肺、女では罹患数2位の大腸が死亡数では1位であった（付表11、12、22、23）。

生存率を反映するIM比は男の前立腺（7.0）、女の子宮（7.0）、乳房（6.4）が高く、これらの部位は予後が比較的良好と考えられる。

図17 罹患数及び死亡数2014年<特定部位>—男—

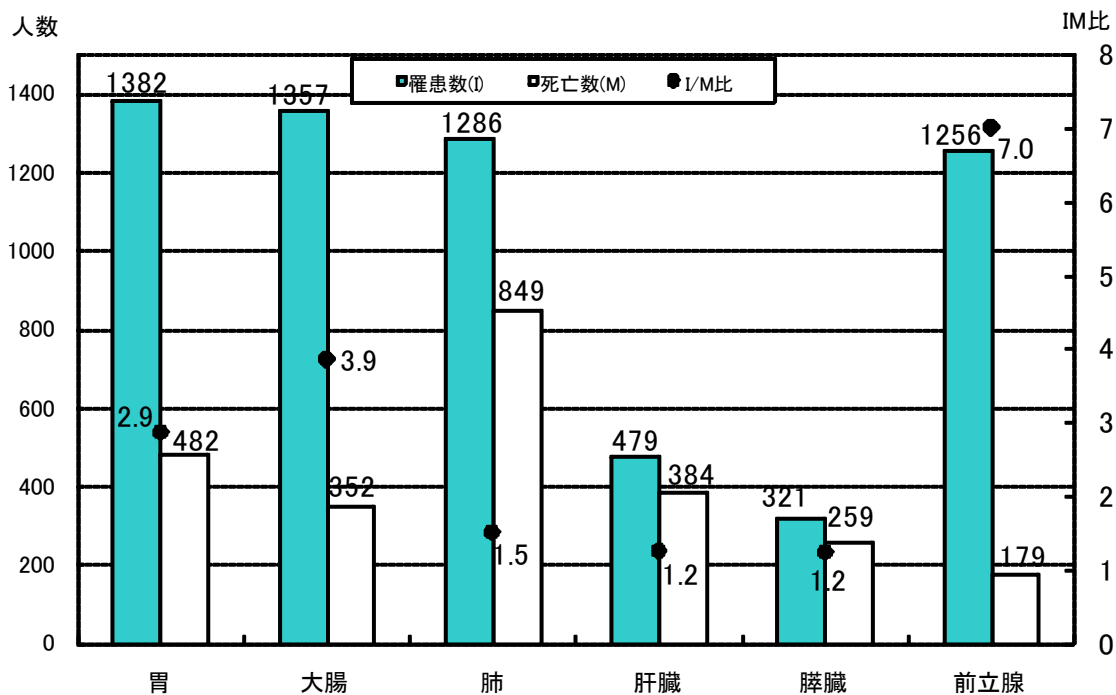


図18 罹患数及び死亡数2014年<特定部位>—女—

